



acoya with lights by SALIOT 2018

PRESS RELEASE

2018.10.13 (Sat) – 31 (Wed)

Tokyo

acoya

真珠、その命を落とし、その美を生む

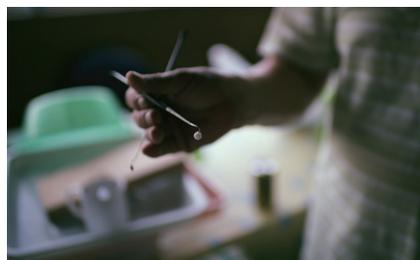


2018 年、あこや真珠の新しい物語、世界へ。

日本のあこや真珠は 1900年の歴史があり太古の昔から人の心と深く繋がり、美しい神秘の存在であった。真珠という存在、つまり“命を落とし、その美を生む”...これはダイヤモンドや鉱物が永遠不動の、ある意味西洋的な美を象徴している存在に対し、真珠は真反対の儂い、しかし悠久に流れ続いていく生命の美である。“生命の流れのようなものの永劫、悠久に流れる生命の持続”これは私たちが根元にもつ美意識であり、ACOYA PEARLの存在そのものである。

この命は、海の中で偶然に生まれ、そして消えて行く美しい破片でもある。優れたクリエイターとともに アート、デザインの力で様々な分野へユニークなアプローチを行い、忘れ去られた真珠の秘めた物語とともに真珠の新たな価値、第二のマーケットを作りあげる。同時に海と森、自然との関係性を問い、琴の海と表現された長崎、大村湾、周辺の海の美しさを復活させる。自然環境を守り、自然、人、経済の美しい循環を目指す。'acoya' ... 自然+歴史・伝統+文化+経済が美しく循環する 100 年先の真珠を考える。

acoya: acoyapearl.com



SALIOT × acoya in DESIGNART TOKYO 2018

DESIGNART
TOKYO

DESIGNART
FESTIVAL



2018年、あこや真珠 新しい物語、 光・音楽・インスタレーション・アートジュエリーにてスタート

ヨーロッパ・日本の19人のクリエイターによるあこや真珠の作品とSALIOTによるライティング、これらは音楽に導かれ真珠の遠い記憶をよみがえらせ、SALIOTの空間に様々な物語を織りなしていきます。

表情豊かな四季があり、穏やかな滋養に満ちた海ゆえに太古の昔から存在し世界に名を馳せた日本のあこや真珠。その優しい色はこの日本の豊かな海、自然から生まれます。そして光があるからこそ真珠の輝きは存在し、様々な表情を見せてくれます。その光を演出するのはSALIOT。ミネベアミツミの日本ならではの緻密な技術を結集し開発されたSALIOTは空間を表情豊かに演出します。

この物語はオランダ在住のアーティスト渡部睦子氏による真珠のためのインスタレーションから始まります。

真珠と光の記憶をよみがえらせるための音楽は阿部海太郎氏により作曲されました。

そして真珠のためのアートジュエリー、パフォーマンス、レクチャーなど、真珠と光の織りなす様々な物語をSALIOTギャラリーにて展開します。



SALIOT Gallery

ミネベアミツミ株式会社が開発した新型LED照明器具「SALIOT (Smart Adjustable Light for the Internet Of Things、サリオ)」はLEDバックライトで培った樹脂成形技術を応用し、光学設計したレンズと発光ダイオードの距離をモーターで制御することで光の照射域や角度を自動調整できます。また、無線技術を応用した独自のソフトウェア開発により、スマートフォン・タブレットで配光角だけでなく、明るさや照射位置の上下左右を容易にコントロールすることができる新製品です。

SALIOT: www.saliot.com

CHIKAKO WATANABE

× acoya

with lights by SALIOT

2018.10.13 (Sat) – 31 (Wed)

Special event/Opening

Lecture: A Journey Through the Memories of Pearls

2018.10.13 (Sat) 18:30 –



オランダから長崎へ“真珠の記憶を巡る旅”に出かけた美術作家、渡部睦子。そこで彼女が見つけたものはどんなものだったのでしょうか？

渡部睦子は“そこにあった記憶”を彼女のユニークな方法で私たちにを見せてくれます。記憶は存在とつながっていて、‘何かがそこにあったけれど、今はなくなってしまった’という状況でも、隠された物語をたどり、五感で感じ取ることができるものに翻訳なおせば、次なる物語、命が誕生するのだと思います。

存在は記憶の重なり…彼女は記憶と今を重ね編み、次の物語、存在の可能性を提示してくれます。

トークではオランダでのアーティスト活動や今年出版されたご自分の本、“NETTING AIR from the low land”についてもお話して頂きます。



渡部睦子

愛知県刈谷市生まれ。1992年京都市立芸術大学美術学部工芸専攻(陶磁器)卒業、1994年同大大学院美術研究科工芸専攻(陶磁器)修了。1998年サンドベルグインスティテュート(Sandberg institut, Amsterdam)、2002年ライクスアカデミー(Rijksakademie)修了。1995年よりオランダを拠点に、アートを紹介する国や文化、コミュニティを訪れ「地元の人に何かを教えてもらう」ということをキーワードに様々な形態を用いて作品の制作を試みている。 www.chikahome.nl



aco^oya

with lights by SALIOT

2018.10.19 (Fri) – 31 (Wed)

Special event
“Music for Pearl”
Live Performance by Umitaro Abe
with saxophone Shuntarou Oishi

10.27 (Sat) 18:30 –



Photo by Ryo Mitamura



Photo by Takashi Homma

阿部海太郎

作曲家。1978年生まれ。自由な楽器編成と親しみやすい旋律、フィールドレコーディングを取り入れた独特で知的な音楽世界に多方面より評価が集まる。蜷川幸雄氏に見出されその劇音楽を数多く手がけた他、舞台、テレビ番組、映画、様々なクリエイターとの作品制作など幅広い分野で作曲活動を行う。現在放送中の『日曜美術館』（NHK）のテーマ曲や今年夏公開されたアニメ映画『ペンギン・ハイウェイ』（原作：森見登美彦 監督：石田祐康）などの音楽を手がけた。これまでに5枚のアルバムを発表している。

www.umitaroabe.com

acoya with lights by SALIOT

2018.10.19 (Fri) – 31 (Wed)

Special event “Drinking Light,” Performance by Shuhei Ohata

10.19,20,26,27 (Fri, Sat) 19:30–20:30



たま、珠。太古の昔、靈魂、魂は目に見えない靈格であり生命の源泉としてみなされた。それは物体や肉体の中に宿り、いつでも体内からぬけて自由に動き回れるものとされていた。球形であることから‘たま’と呼ばれ、またこの‘たま’を入れるべきものも‘たま’と表される。

そしてこの‘たま’は青白く光る。真珠は‘しらたま’と呼ばれ海から届く神秘的な命であり、光により青白く輝く。

人はそこに‘たま’つまりカミの姿を重ねた。

古代の日本においてカミは実態を持たぬものであった。

闇から現れ、何かに宿る…化身として現れる。実態を持たぬカミはしらたまに宿り、それは巫女とともに舞う。

光ヲノム。大畑周平の作品は見えない、しかし波長、漂う粒子として存在する光、つまりカミを捉え、身体の中に取り込む。

これは自らに命を吹き込む行為である。

この光は真珠にも宿り、カミを忘れてしまった現代の私たちに見えない存在を問いかける。



大畑周平

2001年 東京造形大学研究生修了。主な展覧会に「クリテリウム 59」水戸芸術館／茨城、2004)、「アーカスプロジェクト」(茨城県三の丸庁舎／茨城、2008)、「Brand New Valentine」(三菱地所アルティウム／福岡、2010)、「Barocco : Baroque pearl Jewelry Exhibition」(伊丹市立工芸センター／兵庫、2012)、「Lumière」中之島パックス de sign de >／大阪、2015)、「光ヲノム」(クラシカ表参道／東京、2016)、他



竹田礼人(瑠璃庵)

長崎市中央部にあるガラス工房瑠璃庵は、大浦天主堂や中尊寺金色堂など日本の世界遺産にあるガラス製品やステンドグラスの修復なども手掛ける。400年前、長崎で使われており、それ以降長く忘れられていた長崎チロリというガラス酒器も独自の研究にて蘇らせた。瑠璃庵のガラス製品の美しさは、日本だけでなく世界を魅了し続けている。

acoya

with lights by SALIOT

2018.10.19 (Fri) - 31 (Wed)

art jewelry 一部作品



© BCXSY



© pe/ah



© Atsuko Ito



© Jiro Kamata



© Nina Sajet



© Philip Sajet

acoya with lights by SALIOT

参加クリエイター

阿部海太郎、伊藤敦子、大畑周平、鎌田治朗、小西潤、ニナ・サジェ、フィリップ・サジェ、ジャンネット・ジャンセン、ヒルデデ・デッカー、竹田礼人、太郎、ユーチュン・チェーン、アナリス・プランタイト、エミリー・パラード&ニールズ・ハイマンス、ピー、ピクシー、嶺脇美貴子、山岸沙綾、ウルリ・ライトフォファー、渡部睦子

会期

2018.10.13 (土) - 10.31 (水) 会期中無休

2018.10.13 (土) - 10.31 (水)

CHIKAKO WATANABE × acoya with lights by SALIOT

2018.10.19 (金) - 10.31 (水)

acoya with lights by SALIOT

オープニングレクチャー・ライブ・パフォーマンス

2018.10.13 (土) 18:30

渡部睦子レクチャー“真珠の記憶をめぐる旅”

2018.10.27 (土) 18:30

阿部海太郎ライブ“Music for Pearl”

2018.10.19,20,26,27(金、土) 19:30-20:30

大畑周平パフォーマンス“光ヲノム”

開館時間

10:30 - 20:30 Mon. - Fri.

14:00 - 20:30 Sat. and Sun.

*10.13 (Sat) 18:30 - Chikako Watanabe Lecture

*10.27 (Sat) 18:30 - Umitaro Abe Concert

会場

SALIOT ギャラリー

東京都港区三田 3-12-14 ニッテン三田ビル1階

料金

全て無料

お問い合わせ

C[at]chiandheart.com

SALIOT 報道関係・広報室 saliot@minebeamitsumi.com

Phone: 03-6758-6703 FAX: 03-6758-6718



SALIOT × acoya
DESIGNART TOKYO 2018



ミネベアミツミ株式会社

販売・取り扱い：照明製品統括部

フリーダイヤル：0120-016-733 Phone: 03-6758-6733

acoya

協力：オランダ王国大使館



Kingdom of the Netherlands

invitation photo/graphic design

Kumi Hiroi



acoya Production

C&: candheart.com